

『水虫（白癬）』

水虫（白癬）は、白癬菌という一種のカビによって生じる皮膚病で、皮膚の角質にあるケラチンというタンパク質を栄養にして増殖します。

高音多湿の環境を好み、浴室やプールの足マット、スリッパや靴の中などに生息するので、多くは足にできます。

【種類と症状】

- 1、趾間型白癬：足の趾の間がジुकジुकして、痒みをともなう。
- 2、水疱型白癬：足の側面や土ふまずに水ぶくれができる。
- 3、角質増殖型白癬：足の裏が硬くなってヒビ割れたようになる。
- 4、爪白癬（いわゆる爪水虫）：足の爪が厚くなりボロボロになってゆく。

とくに第1趾（親ゆび）に多い。

※ 足以外にできるものは、部位によって独特の呼び名があります。

- 5、股（会陰部）の白癬（いんきんたむし）
- 6、体の白癬（ぜにたむし）
- 7、頭の白癬（しらくも）

【検査・診断】

顕微鏡による検鏡、あるいは培養検査

【治療】

- 1、抗真菌剤の外用（軟膏、クリーム、ローション等）
- 2、抗真菌剤の内服：主に「爪白癬」の治療に用います。

爪白癬の治療は長期間を要します。

【予防、生活上の注意】

- 1、毎日しっかり足を洗う。
- 2、通気性のよい清潔な履物を履く。
- 3、靴は毎日取り替えて履き、履いた靴はこまめに乾燥させる。
- 4、家族でバスマットやスリッパ、爪切りを使う時は別々のものにする。
- 5、治ったようにみえても、しばらくは治療をつづける。

